ご自由にお持ちください

花と緑の情報をお届けします

Green Sketch

グリーンスケッチ

秋のシルエット
―色濃く染まる。

紅葉の落ち葉に落とし込まれた陰影が醸し出す幻想風景。

特集

オープンガーデンによるまちづくり
～東赤倉ガーデニングサークルの取り組み～

- 植物に親しむ　サルビア
- にいがた秋の散歩道　紅葉
- 読者の広場
- 緑花センター掲示板

No. 36
2007 AUTUMN

財団法人 新潟県都市緑花センター

にいがた「緑」の百年物語に参加しています。

特集

オープンガーデンによるまちづくり

～東赤倉ガーデニングサークルの取り組み～

今回は、妙高市（旧妙高高原町）東赤倉地区の東赤倉ガーデニングサークルの取り組みをご紹介します。

長野県との県境に近く、新赤倉温泉をはじめとする温泉とスキー場で有名な県内有数の観光地であり、この東赤倉地区にはペンションが多いのが特徴となっています。

４年前から地区の花好きの人が集まり、住んでいる人も訪れた人も癒される場所づくりを目標に、コンテナ一鉢から始めた活動は、現在20名のメンバーでオープンガーデンや1日だけのガーデン祭り等の活動を行っています。

東赤倉ガーデニングサークルの太田さん（代表者）と村田さんからお話を伺いました。

活動のきっかけはどんなことでしたか？

何年も前からずっと、オープンガーデンをやったら面白いんじゃないかと思っていたところ、地区の女性で何か活動をしないかという話があったのがきっかけで始まりました。また、町全体に活気が感じられなくなって来ているようで、まず地域から元気にできないか、という思いもありました。

活動をしていて良かったと思うことはどんなことですか？

地域との交流、仲間づくり、市の活動でいろんな人と出会うことができたことです。一つの出会いが次の出会いに繋がり、それが自分の生活に活かされていると感じます。緑を介していい出会いがあり、自分達ではやりようがわからないことや、専門家の講習、講演など呼ぶすべを知らなかったのですが、実現することができました。

また、これまで庭は自分で楽しむだけで、どの人がどんな庭をつくっているかはあまり知りませんでした。オープンガーデンを始めたことで、お互いに庭を見に行ったり、お茶を飲みに来たりという機会ができ、庭を通じて地域の女性の交流が深まったように思います。そのほかにも、地域のNPO法人との花壇づくりや育児サークルの人たちとの寄せ植え講習会などによる交流もあります。

寄せ植え講習会

花壇づくり

今後の目標やPRを

未熟なガーデナー（単なる花好き）の集まりなので、時間はかかりますが、妙高の自然やこの場所にあった庭づくりをしていきたいと思います。ハーブを一つのテーマに、目で自然や緑・花を見て、鼻でハーブや花の香りを、耳で風や鳥の声、せせらぎの音を聴き、舌で野草やハーブを味わい、皮膚でアルファ波を感じるというように、五覚テラピーの庭をつくりたいと思っています。そして、花いっぱいの元気な町にすることができたらと思っています。この地には訪れた人を癒してくれるものが必ず、何かひとつあります。人によって二つかもしれないし、三つかもしれません。その何かを探しに来ていただきたいです。

今年で4年目ということですが、代表者の太田さんのモットーとしている「まずは第一歩を踏み出すこと」という言葉のとおり、地域を良くしたいという思いが行動となって、いろいろな人と出会い、それが活動に結びついているように感じました。

PRや活動費用の面などの苦労もあるということでしたが、サークルの中だけにとどまらず、市民の方にも参加を呼びかけているところに、地域の活動として非常に積極的な取り組みをしていると思いました。

オープンガーデンから始まる花と緑の活動が、さらに地域全体の活動へと広がっていってほしいと思います。

活動内容

みどりのゆび園芸講座

長野県で造園業を営んでいる方を講師に招き、昨年度はリーダー研修会を2回開催し、今年度から2ヶ年計画で、市民の皆さんにも参加をよびかけ、年6回の講座でガーデニングの基礎を勉強しています。

土づくり講習会

東赤倉ガーデニングサークル祭

日ごろの成果を披露する目的で祭りを開催しています。今年は7月8日（日）に、オープンガーデン（16ヶ所）のほかに、1コイン（100円）ショップや体験教室を行ったり、スタンプを集めて抽選でお花の種・苗をプレゼントするなどの企画を行いました。

特別講演会

6月14日（木）に妙高メッセで、趣味の園芸の講師として活躍されている、とっとり花回廊のトップマネージャーの矢澤秀成さんを招いて〝園芸が人の暮らしと地域を豊かにする　園芸の楽しみ・園芸の力〟と題した講演会を開催しました。

講演会の様子

オープンガーデンとは

オープンガーデンのはじまりはイギリスで、「ナショナル・ガーデン・スキーム」（以下NGS）という慈善団体が個人の庭などを一般の人々に公開し、それに関わる収益を看護・医療などの公益団体に寄付するという活動から始まりました。一般公開される庭に関する情報は一冊の本にまとめられ、年1回発行されますが、掲載されるにはNGSの厳しい審査があります。

日本のオープンガーデンは、個人の庭を一般に公開するものですが、それぞれの地域で公開方法が異なり、日時を限定した有料のものから年中公開しているものまで様々です。

彩るサルビア～

植物に親しむ

真っ赤な花色ばかりでなく、最近ではいろいろな花色の品種が夏から秋を彩るサルビア（サルビア・スプレンデンス）は代表的な春まき一年草として親しまれています。本来はブラジル原産の宿根草ですが、日本の冬の寒さに弱いことから一年草として扱われています。サルビアの仲間は世界に温帯・熱帯を通じて５００種以上が分布するといわれるシソ科の植物で、この地域の山地に自生するアキギリやアキノタムラソウなどもその仲間です。

多くの種類は宿根性の草本あるいは低潅木ですが、寒さに対する抵抗力があまり強くない種類が多く、栽培上は春まき一年草として扱われるグループと、宿根草として扱われるグループがあり、宿根サルビアは初夏から秋に咲くグループと秋に咲くグループがあります。〇〇セージという名でハーブとして知られているものも宿根サルビアの仲間です。

育て方

植え場所 日当たりのよい肥沃な土のところに植えましょう。

施　肥 植え付け前に１㎡当たり１～２握りの化成肥料をまぜておきます。
同時に砂地や、やせ気味のところでは堆肥や腐葉土を入れましょう。
葉色がうすくなってきたら、液肥など即効性の肥料を追肥します。

水やり しおれるような場合はたっぷりと与えるようにします。

切り戻し 咲き終わった花穂はこまめに摘み取ると、わき芽が伸びて開花します。
葉が込み合っている部分は、風通しをよくしましょう。

一年草サルビア

春まき１年草として扱う種類（サルビア・スプレンデンス、サルビア・ファリナケア、サルビア・コッキネアなど）の育て方のポイントは３つあります。

その１ タネを蒔くときも苗を買ってきて植えるときも、時期が早過ぎないように注意しましょう。早すぎるとタネが腐ったり発芽や生育が遅れたりするので、５月の連休過ぎまで待つのがよいでしょう。

その２ ある程度肥えた土のところに植えましょう。この仲間は適当な温度さえあれば長期間咲き続けるので、肥えた土に植えるとよく育ち、たくさん花をつけます。

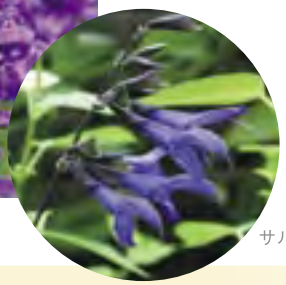
その３ とくにスプレンデンスは、夏は暑すぎて良い花が咲きません。そこで８月上旬に、花穂の下３～４節のところから切り戻しをして、秋によい花をつけさせるようにします。

サルビア・スプレンデンス

サルビア・ファリナケア

～夏から秋を

サルビア・ファリナケア



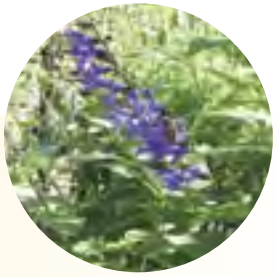
サルビア・グアラニチカ

宿根サルビア

宿根性の種類のうち、耐寒性が強くこの北陸地方でも植えたままでよいものとしては、赤い花のサルビア・エレガンス（パイナップルセージ）、濃い青色のサルビア・グアラニチカなどがあります。

少し寒さに弱くて露地での越冬は出来ませんが、人気の高いのはメキシカンセージとかアメジストセージとも呼ばれるサルビア・レウカンサです。

鉢植えでも地植えでも楽しめますが、育て方はきわめて簡単で、病害虫もほとんどありません。



サルビア・グアラニチカ

サルビア・レウカンサ

サルビア・エレガンス

冬越し

雪が降り初める頃に、茎は地際から切り取ります。（地植えの株は掘り上げて鉢に上げます。）風除室や明るい凍らない程度の場所に移して冬越しします。

冬越しは寒いときほど土が乾き気味の状態に置くことが大切なポイントです。（冬季の水のやりすぎは根ぐされを起こすので注意します。）

土の表面が白く乾いた状態で、ポリ袋に入れて口を閉めておけば水やりの心配はありません。

４月の中～下旬ころになったら外にだし、しばらくは霜にあてないよう軒下に置きましょう。

挿し芽

冬越しした株から６、７月に挿し芽をすれば容易に殖やすことができます。キクなどと同じ要領で挿せばよく、早く挿した株は８月初めころまで摘心を繰り返すと枝数が増えて、古株には及ばないものの見ごたえのある株になります。

植物クイズ

この植物の名前は何でしょう。
秋の七草のひとつです。

①セイタカアワダチソウ
②ナノハナ
③オミナエシ

答えを綴じ込みのアンケートハガキにご記入ください。
正解者の中から抽選で５名様に粗品を進呈します。
クイズのメ切は 10 月 31 日(水)（必着）です。
クイズの答えと当選者は次号（12 月発行予定）に掲載します。

35号 植物クイズ 当選者発表

正解は①ムクゲでした。
当選者は以下の方々です。
おめでとうございます。

白石　初新さん　（糸魚川市）
小池　アイ子さん（新潟市）
種村　初江さん　（南魚沼市）
海津　洋子さん　（新潟市）
遠藤　玲子さん　（長岡市）

「紅葉」

11月になると、県内各地で紅葉を楽しめます。

紅葉は一般的にその日の最低気温が8度を下回ると色づき始め、最低気温が5～6度以下になると急激に進むといわれています。さらに日中は温暖で夜間に急激に冷え込んだり、空気が澄んでいることや葉が十分な日光をうけていることなどが美しく紅葉する条件といわれています。

葉が「黄色」に変わるしくみ

樹木の葉が緑色に見えるのは、葉緑素という緑色の色素があるからです。秋になって急激に気温が下がると、葉緑素が分解されて緑色が消えていき、葉の中の色素はカロチノイドという黄色い色素だけになって、葉全体が黄色く見えるようになります。

葉が「赤く」かわるしくみ

カエデ、ナナカマドなど葉が赤くなる樹木は、葉が落ちる前に、葉と枝の間に離層というものがつくられ、葉と茎の間で糖類の流れが妨げられます。葉に残された糖分や、葉自体のアミノ酸などはアントシアンという赤色の色素にかわり、葉全体が赤く見えるようになるのです。

葉が黄色くなる現象と、赤くなる現象が同時に進行することもあり、これによって色とりどりの紅葉が見られるわけです。

あなただけの秋発見

SANPOMICHI にいがた秋の散歩道

県内の紅葉の名所をご紹介します。

●中野邸（新潟市）

中野邸は、明治から昭和初期に日本の石油王と呼ばれた中野貫一が築造した邸宅で、旧新津市金津にあります。2.3haの敷地のもみじ園には、約130種、2000本のもみじが植えられています。山の斜面を利用した広い園内は起伏があり、紅葉を楽しみながら散策することができます。

交通アクセス 北陸自動車道新津インター20分　JR信越本線、新津駅下車タクシーで15分

場所:新潟市秋葉区金津598番地
入館料必要
問い合わせ:中野邸美術館
TEL 0250-25-1000

見頃 11月中旬

●もみじ園（長岡市）

旧越路町にある「もみじ園」は、約4,000㎡の敷地に、カエデ類やヤマザクラなど多くの植物が植えられています。紅葉の時期には夜間のライトアップも行われ、昼間とは違う景色を楽しむことができます。

交通アクセス
関越自動車道長岡ICから国道404号を来迎寺駅方面へ車で7km。JR信越本線来迎寺駅から徒歩10分

ライトアップ 11月1日（木）～11月下旬

場所:長岡市朝日600番地
入園料無料
問い合わせ:長岡市越路支所産業課
TEL 0258-92-5903

見頃 11月上旬から中旬

見頃は例年の目安です。
お出かけの際は、各問合わせ先にご確認ください。

読者の広場

いつもきれいな写真がたくさん載っており、なかなか出掛ける機会はありませんが、心癒されます。花の盛りを過ぎたアジサイも、緑のリースにするときれいですね。
●8月9日アンケートハガキより
●妙高市　手塚さん

花の育て方や楽しみ方をご紹介することで、皆さんの暮らしにも取り入れていただければと思います。

紫雲寺記念公園のムクゲの花がきれいに咲いています。道路の脇にハーブも咲き、私の大好きな散歩コースです。
●8月11日アンケートハガキより
●新発田市　須貝さん

花を眺めながらの散歩はとても楽しいですよね。昨日まで咲いてなかった花が、今日咲いているのを見つけると何か一日が嬉しくなります。

今年初めて、津南のひまわり畑へ家族でいってきました。とても見ごろで、子供たちは大変喜んでいました。
●8月22日アンケートハガキより
●関川村　菅原さん

たくさんのひまわりで辺り一面が黄色で見事ですよね。ご家族の夏の思い出になって良かったですね。

読者の広場 おたより募集！

「Green Sketch」では読者のみなさまから花や緑に関するおたよりを募集しています。字数は300字以内なら何字でも構いません。ご自慢のお写真の投稿も大歓迎!!住所氏名、電話番号を明記の上、下記までお寄せください。掲載にあたり趣旨は変えませんが若干の手直しをさせていただくことがあります。また、原稿・写真の返却、採否のお答えはいたしませんのであらかじめご了承ください。なお、掲載させていただいた方には粗品をプレゼント!!どしどしお寄せください。

宛先
〒950-0933　新潟市中央区清五郎58番地
(財)新潟県都市緑花センター　情報誌「読者の広場」係
FAX 025-257-8766
e-mail　center@greenery-niigata.or.jp
(e-mailでのおたよりは添付形式にせずにお送りください)

公園ニュース

秋のイベント情報 公園で楽しもう!

当センターが管理運営を行っている公園の秋のイベント情報などを紹介します。

カナールキャンドルナイト

新潟県スポーツ公園
新潟市中央区清五郎地内　TEL 025-286-1080
http://toyanogata.greenery-niigata.or.jp

イベント名	開催日	内　容
スポーツ公園 カナールコンサート	10月13日（土） 昼の部 14:00～17:00 夜の部 17:30～19:00	カナール水上ステージコンサート：アマチュアバンドなどが出演する賑わいのある『昼の部』、キャンドルに照らされたカナールを背景に、しっとりとした大人の音楽を楽しむ『夜の部』の二部構成の予定。
鳥屋野潟 スポーツ公園フェスタ	10月20日(土)、 21日(日)	公園：ニュースポーツ体験、キャラクターショー&パフォーマンス、しゃぼん玉ロードトレインなど 東北電力スタジアム：バックヤードツアー、スタンプラリー、ビッグスワンカフェなど 問合せ：東北電力スタジアム　TEL 025-287-8811

県立紫雲寺記念公園
新発田市藤塚浜地内　TEL 0254-41-3740
http://shiunji.greenery-niigata.or.jp

イベント名	開催日	内　容
しばた食のふれあい フェスタin紫雲寺	10月21日(日) 10:00～15:00	「食」をテーマにした催しです。新発田の秋の味覚を楽しめます。

県立大潟水と森公園
上越市大潟区潟町　TEL 025-534-6190
http://ogata.greenery-niigata.or.jp

イベント名	開催日時	内　容	参加費	定　員
松ぼっくりで クリスマスツリーを 作ろう	11月10日(土) 13：30～15：30	松ぼっくりを使ってクリスマスツリーをつくります。	無　料	20名

注）申込は開催日の10日前からです。

新潟県立植物園
新潟市秋葉区金津186　TEL 0250-24-6465
http://botanical.greenery-niigata.or.jp

温室企画展	開催日	備　考
人と植物の関わり展～食と植～	9月12日(水)～11月11日(日)	観賞温室入館料必要 土、日、祝日小中学生無料
特別展 大文字草展	10月　2日(火)～11月　4日(日)	
クリスマス展	11月14日(木)～12月26日(水)	

※各公園のイベントの詳細は公園事務所へお問い合わせください。
公園までのアクセスなどはホームページをご覧ください。

●表紙写真：第３回都市公園・植物園写真コンテスト【風景部門】入選「秋の丘」

緑花センター掲示板

このコーナーでは、緑花センターの事業紹介や緑花センターが指定管理者となっている県立公園の情報をお届けします。

緑花センター事務局からのお知らせ

花と緑のアドバイザー交流会開催

花と緑のアドバイザー制度に登録いただいている花と緑の専門家、「花と緑のアドバイザー」の皆さんにお集まりいただき、意見交換会を行いました。10 名のアドバイザーの出席をいただき、アドバイザー派遣制度の現況報告、緑化の普及啓発や取り組みなどについてご意見をいただきました。

開催日：平成19年7月27日㈮
会　場：新潟グランドホテル

公園サポーター募集!

この事業は、当センターが管理する公園に継続的に関わってもらい、県民、地域の方々とともに公園を育てることを目的とし、植物の手入れや公園の魅力を発見する活動を共に行うものです。

活動に参加希望の方は各公園事務所へご連絡下さい。当日参加も可能です。雨天などの場合は、小雨決行となります。詳しくはおたずね下さい。

スケジュール

活　動	日　時	場　所	内　容
球根植えてみ隊	10月28日㈰ 10:00～12:00	県立 紫雲寺記念公園	チューリップ広場の花壇に球根を植えつけします。
公園花壇の球根植え付け	11月3日㈷ 10:00～12:00	新潟県 スポーツ公園	カナールの花壇などにチューリップの球根を植え付けます。

球根植えてみ隊（昨年度の活動写真）

問い合わせ・参加申し込み先
県立紫雲寺記念公園
TEL 0254-41-3740
新潟県スポーツ公園
TEL 025-286-1080

公園ブログを開設しました

新潟県スポーツ公園、県立紫雲寺記念公園、県立大潟水と森公園のホームページで、公園ブログを開設しました。職員が、園内のいろいろな話題や情報をお伝えしていきますので、ぜひご覧ください。

財団の公益事業は基金の運用果実により行われます。

当センターは県･市町村及び県民のみなさまから頂いた寄付金より基金を造成しており、その基金を安全･確実な方法で運用した運用益（果実）により緑花の推進事業を行っています。

寄付のお問い合わせ先
（財）新潟県都市緑花センター　総務課宛

グリーンスケッチは県関係機関、各市町村、主な図書館、病院などに配布しています。直接配布を希望の方は下記連絡先「情報誌係」までご連絡ください。

財団法人 新潟県都市緑花センター
950-0933　新潟市中央区清五郎 58 番地
TEL 025-257-8711　FAX 025-257-8766
E-mail center@greenery-niigata.or.jp　URL http://www.greenery-niigata.or.jp

登録範囲は、事務局、鳥屋野潟スポーツ公園事務所（園地）、紫雲寺記念公園事務所、県立植物園です。

古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

環境にやさしい大豆インキで印刷しています

発行●平成19年10月●財団法人 新潟県都市緑花センター●〒950-0933 新潟市中央区清五郎58番地 TEL.025-257-8711